

コード	10302
作成年度	22年度

基本事業評価表

基本事業名称	安全で快適な道路整備
--------	------------

総合計画の位置付け	
政策名称	にぎわいを創る地域交流の促進
施策名称	しまを支える交通基盤づくり

課コード	118	関係課名
主管課名	土木課	

基本事業の目的

歩道の整備や交通安全施設の設置と共に道路の拡幅・舗装等の整備を行い安全な道づくりにより便利で安全な住民生活と円滑な経済活動の確保や住民福祉の向上を図ることを目的とする。

基本事業の成果

成果指標名称 1	町道の改良率(車両交通可能区間)	成果指標名称 2	歩道の整備率(町道)
成果指標の積算根拠	改良済道路延長(1,2級)÷道路総延長(1,2級)	成果指標の積算根拠	歩道延長÷目標歩道整備延長
目標達成年度	平成26年度	目標達成年度	平成26年度
目標達成数値	76.0%	目標達成数値	8,884m

年 度		H18	H19	H20	H21	H22	
成果指標1	目標 A	%	68.4	71.0	73.5	76.0	69.8
	実績 B	%	65.8	66.5	67.4	68.3	
	達成率 B/A	%	96.2	93.7	91.7	90.0	
成果指標2	目標 A	m	6,593.0	6,661.0	6,729.0	6,797.0	7,450.0
	実績 B	m	6,620.0	6,794.0	6,794.0	7,091.0	
	達成率 B/A	%	100.4	102.0	101.0	104.3	

1次評価	現状	財源が厳しい中ではあるが、道路の改良は計画的に執行されている。しかし、未改良部分が多く、工事を行う上での用地取得等に多額の経費がかかる。
	課題	用地取得等に多額の経費がかかる。また、登記が難しいものや利用率、経済効果が低い道路計画が多い。
	改善	用地取得等がスムーズにいくものを計画的に整備していくと共に、利用率、経済効果等を検討し、事業の中止や廃止、コスト縮減等の合理化を図る。

2次評価	道路整備においては、真に必要な道路整備を計画的に行うこと。事業を進めるにあたっては、費用対効果の検討は当然必要なものであるが、高齢者、障害者、児童にやさしい「福祉のまちづくり」を考慮した検討も関係課と協議すること。また、景観条例も考慮した整備に努めること。
------	--

住民等の意見	
--------	--

町の対応	
------	--

※2次評価の公表後に住民等の意見があった場合には、再度公表するものである。